

平成22(2010)年9月16日創立

創立十周年 記念誌

東京日野プロバスクラブ



クラブの目的

生き生きと活動し、知り合いや視野を広めると共に、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する。

プロバスとは

Professional(専門職)のProとBusiness-person(実業家)のBusとの合成語であり、ラテン語のProbus(誠実)を援用した言葉とも言われています。

又、会員はプロビアンと呼ばれています。

プロバスクラブは、一線を退いた60才以上の専門職業人や実業人たちが、その豊かな知識や経験を生かしながら互いの親睦を図り、社会に貢献していこうという非政治、非宗教的、非営利的な団体です。

目 次

◇創立10周年記念誌発行に当たり

令和2年～令和3年度会長 矢野凱弓 1

◇祝 辞 高幡不動尊金剛寺貫主 杉田純一様 2

◇創立10周年記念事業と経過報告

10周年実行委員長 後藤一郎 3

◇創立10周年記念例会 4

目 次

◇各年度の紹介

設立5周年までの活動	5
平成27年～平成28年度事業記録	6
各委員会活動	7
活動の写真	8
理事・役員名簿	9
平成28年～平成29年度事業記録	10
各委員会活動	11
活動の写真	12
理事・役員名簿	13
平成29年～平成30年度事業記録	14
各委員会活動	15
活動の写真	16
理事・役員名簿	17
平成30年～令和元年度事業記録	18
各委員会活動	19
活動の写真	20
理事・役員名簿	21
令和元年～令和2年度事業記録	22
各委員会活動	23
活動の写真	24
理事・役員名簿	26

目 次

◇会員の紹介

青島良二会員・朝倉 章会員・魚住 徹会員	27
大島芳幸会員・大田 健会員・奥 修兵会員	28
小倉孝樹会員・折笠正雄会員・菊池昭雄会員	29
久保正男会員・黒澤直明会員・小島 馨会員	30
小島康義会員・小西弘純会員・小林昭治会員	31
五加 治会員・後藤一郎会員・後藤紀之会員	32
澤田研二会員・篠原昭雄会員・田村豊章会員	33
泊谷時男会員・仲村房次郎会員・林 良健会員	34
疋田久武会員・土方尚功会員・舟橋 洋会員	35
保母錠冶会員・本部皓允会員・宮地公平会員	36
村上 光会員・矢野凱弓会員・山本英次会員	37
横山好忠会員・吉ノ元身良会員・吉村 豊会員	38
鷺尾昭夫会員・渡辺 明会員	39
物故会員	40

◇クラブ概要	41
--------	----

◇同好会

◇ゴルフ同好会	46
◇麻雀同好会	47
◇写真同好会	48
◇PP同好会	49

創立10周年記念事業実行委員会及び

編集後記	50
------	----

創立10周年記念誌発行に当たり



東京日野プロバスクラブ
第11代・2020-2021年度
会長 矢野凱弓



平成22年に26名で創立された当クラブは、同年11月18日に24名の出席を得て第一回例会を開催しました。平均年齢は69.7歳でした。

5年後、平成27年11月19日には会員31名と来賓の合計60名が高幡不動尊例会場に集まり、盛大に五周年を祝う事ができました。

満10年となる本年は11月19日に、会員38名とゲストで合計80名規模の式典・祝賀会を準備していましたが、新型コロナウイルス禍のため断念しました。

令和2年11月の第3木曜日は、若干趣向を凝らした内輪の十周年記念例会と致しました。現会員の平均年齢は76.1歳、平均在籍期間は6.9年であります。

同時並行で準備を進めていた地域貢献事業、イオンモールに於ける小林宏之先生の公開講座も開催不能となり、代わりにコロナ禍にあって健闘目覚ましい日野市立病院への、医療必需品支援事業に切り替えました。

一方、記念事業3本柱の一つである十周年記念誌の作成は着々と進められ、夏には多くの原稿が小西リーダーのもとに集まりました。立派な五周年記念誌がありますので、それに続く5年間の記録をきちんと後世に残そうとの趣旨から、年度内の記念誌発行を目指すこととなった次第です。

此の十年間で会員の入会総数は60名となります。20名強が卒業されましたが、個性豊かな多くの皆様のクラブ活動への貢献に厚く感謝します。

クラブ誕生にご尽力頂いた日野ロータリークラブ、飛火野ロータリークラブ、ご指導頂いた八王子プロバスクラブに改めて謝意を表します。

新陳代謝を重ねながら、高齢化と言う時代の要請に沿って活動を続ける当シニアクラブが、更なる持続的な発展を遂げるよう希求してやみません。

祝 辞



高幡不動尊金剛寺
貫主 杉田純一様



東京日野プロバスクラブが10周年を迎えたこと、真におめでとうございます。

初代篠原会長、澤田幹事でスタートし、会員の皆様のご努力により発展を遂げ、今ではロータリークラブよりも規模が大きくなっています。

10年前、執事長であった頃、先代川澄御前の仰せで、新クラブの例会場設営につき皆様との相談に与ったことなどを懐かしく思い出します。たゆまず奉仕活動を続けてこられ、立派な事と思います。個人的には初孫を授かる喜びがあり、コロナ禍の中、健康に留意しながら過ごす日々であります。

お釈迦様は初説法で8つの実践的な徳目を説いています。八正道(はっしょうどう)です。悟りを目指す8修行です。

第1は「正見(しょうけん)」、ありのままに物事を捉えること。

第2に「正思惟(しょうしゆい)」正しく考え判断すること

第3に「正語(しょうご)」正しい言葉で言う事、嘘、悪口、二枚舌はいけません。

第4に「正業(しょうごう)」正しい行いをする事、今、換気のため開けてある窓から蜂が入ってきましたが、仏法で殺生は禁じられています。

第5に「正命(しょうみょう)」道徳に反する職業や仕事はせず、戒律(法律)に従う生活を営むこと。

第6は「正精進(しょうしょうじん)」悪いことをせず、善い行いを更に積むこと。

第7は「正念(しょうねん)」正しく信念をもって行動すること。

第8は「正定(しょうじょう)」で以上7つの教えの総括であり、それらを実践することです。

今年はコロナ禍で多くの行事が中止され、或いは簡略化されています。今日は七五三の方を境内に多く見かけますが、普段とは場所も移し、人数も制限しての参詣をお願いしています。第3波も来襲し、人々の心身も蝕まれている状況ですが、何とか乗り越えて平安が訪れることを祈念致しています。

創立10周年記念事業と経過報告



創立10周年記念事業
実行委員長 後藤一郎



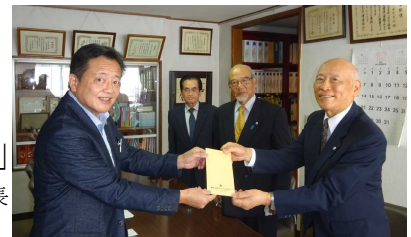
日野プロバスクラブは今年10周年を迎えました。一昨年来、「10周年記念」の準備を進めてきましたが、新型コロナの影響で「3密を避ける」「外出の自粛要請」等の状況を踏まえ、10周年に関して以下の通り決定しました。

- ① 記念式典・祝賀会の延期。
- ② 記念誌はクラブの記録を主としたものとして発行する。
- ③ 地域貢献としての記念事業は実行する。
記念事業は以下の通りです。

1. 寄 付(金一封)

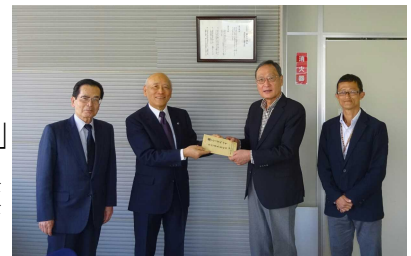
・社会福祉法人
「光の家」

左より 石渡理事長、林地城奉仕委員長
澤田副会長、矢野会長



・社会福祉法人
「夢ふうせん」

左より 林地城奉仕委員長、矢野会長
高橋理事長、浅野理事施設長



2. 寄 贈

(コロナ対応で奮闘する日野市立病院へ
感謝を込めて)

日野市立病院
ナーシングストレッチャー
2台



前方 澤田副会長 ▲
後藤(一)
実行委員長
矢野会長
林地城奉仕
委員長

左より ▲
林地城奉仕委員長
矢野会長
大坪冬彦日野市長
後藤(一)実行委員長
澤田副会長



創立10周年記念例会



左より

【前列】吉ノ元会員、後藤(紀)10年度会長、菊池3年度会長、矢野会長、高幡不動尊杉田純一貫主、篠原初年及び2年度会長、鷲尾5年度会長
山本6年度会長

【後列】渡辺幹事、久保会員、横山会員、林会員、保母会員、疋田会員
泊谷会員、村上会員、土方会員、本部会員、小林会員
澤田副会長、五加会員、青島会員、大島会員

【写真撮影】宮地会員

【他・コロナ禍等のため欠席された会員】朝倉会員、魚住会員
奥9年度会長、小倉会員、大田会員、折笠会員、黒澤会員
小島(馨)7年度会長、小島会員、後藤(一)4年度会長
小西8年度会長、田村会員、仲村会員、舟橋会員、吉村会員



会長挨拶 矢野凱弓会長



10年前の11月18日に日野プロバス第1回例会が、この会場で開かれました。本日は記念すべき10周年例会に本山の杉田貫主をお客さまとしてお迎えし、法話を頂けるのは無上の喜びであります。

10年前の創立会員は26名、その年に3名が加わり初年度末の会員は29名でした、10年を経て38名です。本日の記念例会は、初代篠原会長から始まり、ご出席頂いている歴代5会長にご挨拶と当時のトピックスを5分程度でお話し頂くようお願いしています。御前様の法話と共に、楽しみにしたいと思います。

また、例会委員会の格別のお骨折りと趣向で、本日のお祝い例会が出来ますことに感謝します。

ところでコロナ禍の中、有望ワクチン開発の朗報が続く一方、日本全体に感染拡大第3波が襲って来ているようです。日野市も絶対数は少ないながら新規感染者急増中です。今後とも健康安全を第一に、用心しながらクラブ活動を進めていきたいと願っております。



渡辺 明 幹事

出席された歴代会長による挨拶



初代篠原会長



3年度菊池会長



5年度鷲尾会長



6年度山本会長



10年度後藤(紀)会長

The background of the page is a repeating pattern of small circles. Each circle has a different color and a different internal texture. The colors include shades of yellow, orange, pink, and light green. The textures include solid colors, horizontal lines, vertical lines, and diagonal lines. The circles are scattered across the page, creating a vibrant and busy background.

各年度の紹介

設立より五周年までの活動

創立5周年記念誌より抜粋

【初年度】 平成22(2010)年9月16日、日本全国105番目・東京都5番目のクラブとして設立される。



初代会長に篠原昭雄、総勢26名の会員で活動が始まった。



【平成22年度】

翌年創立一周年記念式典を行う。2011年(平成23年)3月11日に、マグニチュード9.0の観測史上最大規模の「東日本大震災」が発生。クラブでは翌年5月27日に研修委員会・地域奉仕委員会の合同企画で「東北復興支援旅行」を21名の参加で行う。

【平成23年度】

2年目に入ったが篠原昭雄会長が続投する。基本方針は「初年度の基本方針を引き継いで、全員参画を基本とし、今年の干支に因んで、東日本大震災復興支援『絆』をはじめ各事業・活動の飛躍と充実を図り、好楽のある会とする事」とした。

鷲尾会員委員長により会員6名の増強となり、「会員手帳」を発行する。

小島研修委員長により「お江戸食べ歩き」と「Wスポット見学」と帰りの車中はカラオケ大会。「東北復興支援南三陸温泉と世界遺産・平泉」を実行する。「ゴルフ同好会」、「旅行同好会」など同好会の立ち上げが出来ました。



山本地域奉仕委員長のもと、「東日本大震災復興支援ツアー」に参加者21名。

【平成24年度】 菊池昭雄会長のもと3年目を迎える。

地域奉仕委員会の「正秋バンド」コンサート後援など奉仕活動が充実。

研修委員会は「国立天文台見学」「気象庁見学」「JAXA相模原キャンパス見学」が行われた。

また新年会、観桜バス旅行など開催された。



【平成25年度】

後藤一郎会長は基本方針を更なる「会員相互の理解と親和」として例会で推進する事としました。

「1. 例会での司会担当の月替わり 2. 誕生月に会員のショートスピーチ 3. 例会終了後、各委員会の打合せ会の実施」の三つの提案がなされました。

山本英次例会委員長は会員スピーチを拡充し、研修委員会は「吹き矢体験学習」が林委員長により始まる。奉仕活動は渡辺地域奉仕委員長の呼びかけで「日野よさこいまつり」「正秋バンド」「多摩川・浅川クリーン作戦」などに多くの会員が協力した。

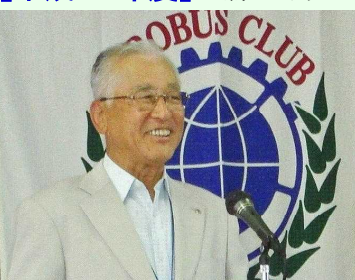


【平成26年度】

鷲尾昭夫会長のテーマ「1. 知識と経験を生かし自己実現と社会貢献を図る。2. そのために心身ともに健康管理を心がける!! 3. 和を重んじ寛容の精神をもってクラブを運営する。」を掲げ、会員増強を図り34名となりました。

研修委員会では村瀬彰吾氏による「日野市の郷土史」の卓話を重ね勉強しました。

又、川澄祐勝貫主より特別法話を頂きました。地域奉仕委員会は更なる奉仕活動の充実を図り、会長テーマを実行した。



第6年度 平成27年～平成28年度事業記録

(2015年～2016年度)

< 年度基本方針 >



会長 山本 英次

5周年を迎えてこれまでの足跡を振り返り、発足時の初心に戻り、そして、これからの活動の指針を見つけるには、丁度良い機会です。会員それぞれの人生経験を活かして、地域社会に貢献する為に何をしなければならないかを、皆さんで考えましょう。

悔いの無い終活を迎えるためにも、『自分の幸せを求めず、女房、子供はじめ、自分の周囲の人間、自分と関わりをもった人間がハッピーになるのを手助けする……そういう生き方こそが、本当の男の生き方だ。』『仕事は男の中身を作り、遊びは男の行間を広くする』

< いま 思うこと >



幹事 大島 芳幸

まだ入会して2年の若輩者でしたが、山本英次会長と共にクラブ運営に努めました。この年度はクラブ創立5周年行事と重なり、篠原昭雄会員の采配のもと5周年行事の実行委員会も頻繁に開催された多忙な一年でした。

特筆すべきは、周年行事実行委員会が3年越しの準備段階から綿密な打ち合わせと準備を重ね、周年行事を成功裡に収めた事です。実行委員の方々の経験に裏打ちされた見識と実行力には感服いたしました。

各委員会活動

例会委員会 小島康義 委員長

「会員のご協力により、全ての会員が参画意識を持てる意義のある例会の実現に努めていく」をスローガンに掲げました。

例会委員会の大きな務めは会員スピーチの人選と食事の選定に尽きると思い、各委員会で意見を集約して頂きました。困ったときの林良健会員スピーチで凌いだ月もありました。

又、山本・大島年度は5周年記念事業の節目にあたり、5周年記念行事慰労会を東京湾の屋形船で開催。5周年総括の主要委員談話、引き続きカラオケ大会で盛り上がったことを思い出します。

情報委員会 矢野凱弓 委員長

初代・林委員長が月例会報の土台を築き、次の3年をプロの小西委員長が担当されたが、プロバスだよりの編集・印刷は極めて専門性の高い業務。懇切な引継・指導を受け、幸い同僚6委員全員がパソコンメールの遣い手なので、編集作業はスムーズに進められた。

従来 of 編集方針と、原則A4で2ページの体裁を維持し、制作には汎用文書ソフト「ワード」を採用、今後とも継続的に作業しやすい環境を整えた。一方、前年スタートした自前のホームページ維持更新は小西副委員長を中心に展開、充実した内容に進化していった。

又、日野市外の在住者が7名居たので例会の都度、日野広報を配布し情報の共有に努めた。

会員委員会 澤田研二 委員長

27年度は日野プロバス創立5周年年度。26名でスタートした当クラブも、この間入会・退会(諸事情で)があり年度初めは33名。今年度は節目年度と云うこともあり会員目標40名とやや厳しい目標を設定。加えて“会員が居心地良く楽しいクラブ”となる様尽力したい、の目標掲げる。

年度の特徴点は ①8月:信田会員休会 ②10月:クラブ標章入りジャンパー完成、会員に配布

③11月:創立5周年式典実施 ④平成28年2月:舟橋 洋氏入会

⑤3月:宮地公平氏入会 ⑥4月:須藤会員退会、井上宏子氏入会 ⑦5月:3ヶ月連続新入会員のため歓迎会実施

研修委員会 林 良健 委員長

『プロバスクラブ』の研修企画は、「知的ニーズの充足」、「趣味の修得」にポイントを置き立案する。

1. 「専門」講座(2015.10.15) 「オーロラと私のかかわり」

宇宙科学研究所 名誉教授 鶴田浩一郎 (オーロラ発生のメカニズム、映像による紹介)

2. 「体験学習」講座(2016.3.30) 寛永寺根本中堂特別拝観

・台東区議の案内で上野寛永寺根本中堂の特別拝観。・葵の間、徳川将軍御霊廟を見学など

3. 「専門」講座(2016.5.19) 「がん」～ 手術から遺伝子との闘いへ ～

日野市立病院 菊永 裕行副院長

・30年間の外科医体験は、手術から遺伝子との闘いであり、心のケアが大切である。

4. 「体験学習」講座(2016.5.19、6.16) 「健康レクレーション吹き矢教室」

地域奉仕委員会 土方尚功 委員長

7月 地域行事への積極的参加・協力の推進

①ペットボトルキャップ・切手収集等通年奉仕活動の継続が強調され、実施されている。

②日野よさこい祭への参加

11月 高幡もみじ灯路への協賛金と参加 12月 夢ふうせんへの寄付

4月 多摩川・浅川クリーン作戦へ新調したクラブ揃いのジャンパーで9名参加

5月 ひの新選組まつりへ協力参加 6月 ひのよさこいまつり協力参加

年度活動記録

5周年記念式典集合写真



日野プロバス 五周年記念行事 慰労会 @尾形船・大江戸 2015.12.17



多摩川・浅川クリーン作戦

小島、久保、土方、矢野、宮地、後藤、横山、山本+黒澤 (撮影) ふれあい環本部 2016.04.17



第10回もみじ灯路
11月22日開催



新選組まつり
5月21・22日開催



社会福祉法人「夢ふうせん」に寄付金贈呈



プロバスPP同好会 第一回
高尾山ピアマウントでワイワイする



PP同好会第2回企画/神楽坂で太鼓持ち



新年会

三好のぶちか氏
津軽三味線演奏



役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	山本英次
	副会長	小島 馨
	幹 事	大島芳幸
	副幹事	奥 修兵 横山好忠
理 事	例会委員長	小島康義
	情報委員長	矢野凱弓
	会員委員長	澤田研二
	研修委員長	林 良健
	地域奉仕委員長	土方尚功
	会計監査	後藤一郎
	会計監査	渋谷文雄

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)／委 員
例会委員会	小島康義	◎後藤紀之 黒澤直明 佐藤郁夫 泊谷時男
情報委員会	矢野凱弓	◎小西弘純 小林昭治 曹 一男 田口賀夫 疋田久武
会員委員会	澤田研二	◎篠原昭雄 須山裕子 田村豊章 中村代志子
研修委員会	林 良健	◎渡辺 明 渋谷文雄 鷺尾昭夫 和田一男
地域奉仕委員会	土方尚功	◎久保正男 市川資忠 菊池昭雄 後藤一郎

第7年度 平成28年～平成29年度事業記録

(2016年～2017年度)

< 年度基本方針 >



会長 小島 馨

テーマ “新しい友達、新しい結びつきを見つけ出し、
生き活きたクラブ実現をめざします”

懐かしく会長年度のノートを眺め初例会(平成28年7月2日)鷺尾例会委員長の開会でスタートしました。初例会で本部皓允さんの早々の入会で仲間も増え嬉しかったことを思い出しました。各委員長の積極的な企画、立案で例会運営、活動、無事任期を終えられ感謝申します。全日本プロバス協議会理事であった後藤一郎さんから他クラブなどとの交流はできるだけ密にする様に促されたこともあり、埼玉浮き城PC5周年、多摩PC、特に八王子PCの生涯学習サロンは楽しみに受講させて頂き渋谷文雄さんをととても僥倖されてなりません。

私の年度で思い出深いのは、新年会の時、村瀬彰悟さん(平成29年2月入会)のサックス演奏、土方会員の手品、そして多方面から協力して頂いた「ビンゴ大会」、八王子PC、多摩PCの参加も多く皆さんに楽しんで頂けたことです。第1東ブロック協議会は平成28年9月5日京王プラザホテルで行われ、当クラブから13名が参加して楽しい会になりました。

たまたま私の学生時代の同期がいる長崎に旅行の機会があり、平成30年6月9日横山さん、奥さん、小島(康)、小島(馨)の10人が壱岐プロバスクラブの例会に出席しました。終了後「健康の集い」で“ペタンク”を楽しんできました。

幹事・土方さん、副会長・小西さん、副幹事・後藤(紀)さん、理事の鷺尾さん、大島さん、田村さん、横山さん、久保さん。大変お世話になり、有難うございました。

< いま 思うこと >



幹事 土方 尚功

平成27年度の総会に於いて、幹事職を受け、会長・各委員会と連携を取るなか、各行事に向けての調整を図ってきたと思っておりますが、会長の方向性である、他市のクラブなどと連携を進めていきたいとの思いに同調して、全日本、東日本ブロックなどの行事への参加を含めて事業連携が取れたと思っております。また、当クラブでの各種行事や市の行事、新選組まつりや、よさこいまつり、もみじ灯路等に合わせたの活動、河川の美化、地域清掃にも積極的に参加されております。

私としてはマジック披露などで皆さんに喜んで頂くことを喜びとしています。

各委員会活動

例会委員会 鷺尾昭夫 委員長

設立六年目となり例会の運営も軌道に乗ってきました。メンバーは発足当時から例会委員として活躍されている泊谷さん、ここ続けて3年続けて例会委員の黒澤さん、前年度委員長の小島(康)さんがおられたので委員長は不慣れでも若手の積極的な働きもあり、手際よく運営が出来ました。例会は会員が一堂に会する月一回の機会であり、どのようにしたら意思疎通が図れるか、メンバースピーチ、席の決め方、食事内容などに工夫を凝らしたつもりです。それなりに務められたことは会員の皆様のご協力の賜と感謝しています。

情報委員会 大島芳幸 委員長

当クラブの機関紙である「プロバスだより」作成を担当いたしました。改めて当時の、「プロバスだより」を読んでみて、会員の方々やゲストスピーカーの方々のスピーチ内容を正確・簡潔に紙面に記載することの難しさを思いながら、解り易い紙面づくりを目指して一年間頑張った記憶が蘇りました。

会員委員会 田村豊章 委員長

一番印象に残る思い出は、みんなで行った東日本大震災後の現地視察です。委員会報告として、平成28年度には“本部皓允氏”の入会がありました。次年度に向けての多数の候補者がおりますので、入会して頂けることに期待しております。

研修委員会 横山好忠 委員長

1. 渋谷文雄会員・講師。中国の現状と将来を考える。
 2. 村瀬彰吾会員・講師。郷土史、新選組土方歳三・沖田総司・近藤勇を語る。
 3. 郷土史歴史探訪(京都祇園祭にかけて)、新選組歴史探訪(日野市新選組研究主幹「村瀬彰吾氏のご案内」解説つき)。4名+村瀬塾9名
(外部研修・上野文化の森)見学会。9名参加
- ★ 世界遺産・国立西洋美術館。
 - ★ 横山大観記念館。
 - ★ 旧岩崎邸庭園。
 - ★ 上野市場本館(お疲れ様懇親会)

地域奉仕委員会 久保正男 委員長

平成28年度の「地域奉仕委員長」に任命されて、最初に担当したのが「日野よさこい祭」でした。当日は、異常な熱さで熱中症が心配されましたが、幸いお手伝いしたのが給水係だったので水分を補給しながらなんとか一日を乗り切ることが出来たという辛い思い出があります。その後 11月の「もみじ灯路」翌年4月の「浅川クリーン作戦」、5月の「日野新選組まつり」等、会員皆様のご協力で無事終えることができました。

ところで地域奉仕委員を担当して以来少し気になっていることがあるので紹介させていただきます。実は、私もそうでしたが「プロバスクラブ」とは、どんな団体で、また、具体的にどのような活動ををしているのか全く知らなかったのです。

そこで、通りがかりの人、その後、知人、友人等10人に、それとなく聞いてみました。

- ①プロバスクラブの名前を知っていますか :2人(ロータークラブ:6人)
- ②クラブの活動内容を知っていますか : (内1人)(ロータークラブ:4人)
- ③プロバスクラブは全く知らない :8人

など、まだまだ知名度が低いことに驚いているところです。

これからは、プロバスクラブ会則の目的である「第1条:生き生きと活動し……地域社会に奉仕する」を目標として地域奉仕委員を先頭に、地域密着型活動を積極的に実施し、PRしていきたいと考えています。

年度活動記録



地域奉仕委員会「第20回日野新選組まつり」5月13・14日両日開催

3年前に日野市立病院で肺癌の手術を受け、現在は定期的に新薬の点滴治療を行っております。

昨年日野ロータリークラブ創立50周年事業の一環で当山に彼岸花(梵語で蔓珠沙華)球根5万個の植栽を寄贈していただきました。

将来は100万本の群生を計画しております。市民の皆様の憩いの場所となればと願っております。



＜川澄祐勝貫主、第69回例会(2016年9月15日)で卓話を頂く

研修委員会
2月24日(金)
上野・旧岩崎邸庭園
国立西洋美術館
横山大観記念館を見学



＜地域奉仕委員会

4月23日(日)
浅川・多摩川クリーン作戦参加

第10回ゴルフ同好会
クラブコンペ
11月18日(日)開催



＜納涼例会「星の家」さんで開催



新年会

2016年1月19日(火) 立川グランドホテル



誕生日祝い



PP同好会企画・10月29日「東京駅丸の内駅舎見学と東京ステーションホテルでスペシャルランチ」



PP同好会企画・12月10日
「日本のおもてなし芸者と
お座敷体験」

新年会は土方会員のマジック、村瀬会員のサックス演奏など、二次会も賑やか

役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	小島 馨
	副会長	小西弘純
	幹 事	土方尚功
	副幹事	後藤紀之
理 事	例会委員長	鷺尾昭夫
	情報委員長	大島芳幸
	会員委員長	田村豊章
	研修委員長	横山好忠
	地域奉仕委員長	久保正男
	会計監査	奥 修兵
	会計監査	小島康義

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)／委 員
例会委員会	鷺尾昭夫	◎奥 修兵 小島康義、泊谷時男、黒澤直明 宮地公平、斉藤盛男、本部皓允
情報委員会	大島芳幸	◎渡辺 明 篠原昭雄、田口賀夫、曹 一男
会員委員会	田村豊章	◎矢野凱弓 菊池昭雄、疋田久武、和田一男 井上宏子
研修委員会	横山好忠	◎澤田研二 渋谷文雄、後藤一郎、舟橋 洋
地域奉仕委員会	久保正男	◎林 良健 山本英次、市川資忠、小林昭治

第8年度 平成29年～平成30年度事業記録

(2017年～2018年度)

< 年度基本方針 >



会長 小西 弘純

テーマ “融和と宥和、そして楽しい例会”

「融和」とは、“うちとけて お互いに親しくなること”

「宥和」とは、“相手の態度を大目に見て許し、仲良くすること”

これこそが親睦ではないでしょうか。

会長経験者の皆様、諸先輩方からすると、創立された時の思いと、7年間の歴史の中に、私も一頁に加えさせていただくことに感謝致します。

少し新しい事業なども考え、それが活性化につながれば嬉しいことです。

今年度一年間を皆様と共に楽しみたいと思います。又「融和」と「宥和」でご協力を頂ければと思っています。

但し、年度後半一番事業に力を入れなければならない時に体調不良に遭い、会員皆様、副会長、幹事に多大なご迷惑とご心配をおかけしたこと申しわけありませんでした。

< いま 思うこと >



幹事 宮地 公平

28年3月入会、後藤紀之会員に勧められ、クラブの知識もないまま幹事職を受けましたが、相当ご迷惑をかけたものと反省しております。クラブ運営の知識は全くなく、小西会長、奥副会長及び小島副幹事、他会員の皆様から、事あるごとにアドバイスをいただき、何とか1年間を過ごすことができました。皆様のご教導には心から感謝

申し上げます。又、林 良健氏のお誘いを受け、市内小学校の吹き矢・短歌等の教育補助の機会にも恵まれました。振り返ってみれば、最高に充実した1年でした。「プロバス効果」の凄さに、正直、驚いています。

各委員会活動

例会委員会 本部皓允 委員長

平成28年7月に入会して、翌年いきなり例会委員長に指名されて、要領も分からぬまま役を引き受けましたが、委員会の方々のご協力を頂きながら、何とか一年間務めることが出来ました。

例会委員会は毎月一度の例会を一年間包括的に取り仕切り、円滑なクラブ活動を演出し、会員同士の融和を図り親睦を深める謂わばプロバスクラブの活動の根幹を担う委員会であると思います。

情報委員会 山本英次 委員長

初めての情報委員長として手探りながらに務めさせていただきました。

毎月の『プロバス便り』の発行に努力し、無事に任務終了となり一安心させていただきました。

会員委員会 田村豊章 委員長

前年に続けて委員長を仰せつかりました。

入会候補者多数がおりましたので、皆様に入会を促し前年度と合わせて10名の会員増強が出来ました。クラブの発展に貢献できたと思います。

29年8月・折笠正雄会員、小倉孝樹会員。29年10月・吉村 豊会員。29年11月・吉ノ元身良会員。

29年12月・青島良二会員、保母錠治会員、朝倉 章会員。30年1月・魚住 徹会員。

30年7月・仲村房次郎会員

研修委員会 横山好忠 委員長

1. 高幡不動尊執事長・杉田純一様の講和。
2. 吉村豊会員・中大名誉教授(長寿時代を楽しく生きる)健康体を保つ秘訣の講演。
3. 渋谷会員・中国近代史の研究者(日本の国境問題を考える・尖閣諸島問題)を解説・戦争は絶対してはいけない!と強調された。
4. 熊井治孝様・RC会員(動物由来感染症)の解説。
5. 林 良健会員・㈱マネジメントリサーチ代表(妻のため息、夫の独り言)充実した人生のスタート!になるよう、高齢者としての役割分担等を講演。

地域奉仕委員会 林 良健 委員長

1. 活動内容 ・地域社会に奉仕、貢献する

2. 地域行事・団体等支援

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------|
| ①多摩川・浅川クリーン作戦 | ②ひの新選組まつり | ③ひのよさこい祭 |
| ④たかはたもみじ灯路 | ⑤社会福祉法人東京光の家 | ⑥社会福祉法人夢ふうせん |
| ⑦社会福祉法人日野市社会福祉協議会 | ⑧国際医療支援 | |

3. 社会貢献活動(「日野市・健康吹き矢サークル」として)

「健康レクレーション吹き矢」を社会貢献活動として取り入れた理由は?

- ・簡単・楽しい・体に良い・友達が出来る・健康維持に役立ち誰でも参加できるスポーツ
- ・学業で大切な、集中力と持続力の増強に役立ち、学び、遊び、躰が出来る

①地域コミュニティー関連 …… 日野台サロン「ここにココフェ」支援

②教育関連 …… 日野市子ども部子育て課「放課後子ども教室」支援

・「ひのっち」⇒ 旭が丘小、滝合小、南平小、豊田小

年度活動記録

高幡不動金剛寺・杉田純一貫主卓話 2017年9月21日例会
高幡不動尊は、真言宗智山派別格本山で高幡山明王院金剛寺は関東三大不動の一つに挙げられている。

1100年前、平安時代に慈覚大師円仁が、清和天皇の勅願によって当地を東関鎮護の霊場と定めて山中に不動堂を建立し、不動明王を安置した。1335年8月の台風によって山中のお堂が倒壊したので、7年かけて麓に移し建てたのが現在の不動堂である関東稀にみる古文化財で、仁王門とともに重要文化財に指定されている。

丈六不動明王坐像(重要文化財)は、檜で造られ修理に京都で3年、東京都博物館で1年半、5年ぶりに帰ってきました。

木造不動明王は、約2.8mあり、二童子像の三体が並んでいるのは、高幡不動だけであります。修理をしていると、随分と手を加えて直している台座が出てきて、とても火事が多かったことが解った。



地域奉仕委員会
「第17回ひのよさこい祭」
“給水サービス”よさこい踊りを踊った方々に、水・麦茶の給水サービス



地域奉仕委員会
日野PC協賛
「光バンドチャリティコンサート」



地域奉仕委員会
「夢ふうせん」に支援金贈呈。
湯口理事長、笠原副施設長の案内で施設全体を見学。



△渋谷文雄会員の中国情勢の卓話
市川資忠会員の卒寿祝いスピーチ△



府中・サントリービール工場見学



◇◇ 納涼例会 ◇◇



新年会と誕生日祝い



クラブコンペで
鷲尾会員、小島会員が各回で優勝。鷲尾会員の笑みは三賞獲得



8月の誕生日祝い

役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	小西弘純
	副会長	奥 修兵
	幹 事	宮地公平
	副幹事	小島康義
理 事	例会委員長	本部皓允
	情報委員長	山本英次
	会員委員長	田村豊章
	研修委員長	横山好忠
	地域奉仕委員長	林 良健
	会計監査	鷲尾昭夫
	会計監査	大島芳幸

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)／委 員
例会委員会	本部皓允	◎大島芳幸
		泊谷時男、小島 馨、後藤紀之
		小林昭治、和田一男、折笠正雄 小倉孝樹
情報委員会	山本英次	◎矢野凱弓
		疋田久武、曹 一男、田口賀夫 吉村 豊
会員委員会	田村豊章	◎黒澤直明
		後藤一郎、篠原昭雄、渋谷文雄
研修委員会	横山好忠	◎舟橋 洋
		久保正男、村瀬彰吾、澤田研二
地域奉仕委員会	林 良健	◎渡辺 明
		市川資忠、鷲尾昭夫、土方尚功 菊池昭雄、(山本英次)

第9年度 平成30年～令和元年度事業記録

(2018年～2019年度)

< 年度基本方針 >



会長 奥 修兵

テーマ

“知的好奇心を活用し、健康寿命の延年を計り
健全な高齢者社会の一翼をになおう！”

具体的課題

- 1 「日野市健康吹き矢サークル」事業の立ち上げ
- 2 10周年記念事業の為の基本構想(試案)作り

< いま 思うこと >



幹事 小島 康義

今年度は2名の会員が亡くなりました。

* 故村瀬彰吾氏(享年79歳)平成30年8月19日没

* 故渋谷文雄氏(享年89歳)令和元年5月11日没

心よりお悔やみ申し上げます。 黙禱！

又、平成天皇がご退位され、令和天皇がご即位された大きな時代の変化があった年でもありました。

今年は台風の為、「第18回ひのよさこい祭」中止。又、強風を伴う豪雨台風15号・19号による河川の氾濫等により甚大な被害を受けた1年でもありました。亡くなられた方には心よりお悔やみ申し上げますと共に、被害を受けた方には心よりお見舞い申し上げます。

奥会長の年度目標

* 「10周年記念事業」のための基本構想(試案)作り達成に向けての1年間でしたが、「10周年記念事業」のための基本構想(試案)作りについては後藤紀之副会長をリーダーとして概ね、出来上がっていると考えています。

* 「日野市・健康吹き矢サークル」事業の立上げについては林吹き矢専任理事をはじめ宮地会員・山本会員・渡辺会員・本部会員・吉ノ元会員による「えびす会」～高齢者の為の健康吹き矢指導、「ひのっち」～小学生1-6年の吹き矢指導により「日野市・健康吹き矢サークル」として、日野市社会福祉協議会日野ボランティアセンターの協力団体として正式に平成31年4月15日に登録されました。

私としては「吹き矢インストラクター試験」に追試合格し、いざボランティアに参加と意気込んでみたものの未だに実現していないので、気持ちの中では未達成な感じです。

最後になりましたが、五役・各委員会理事及び会員の皆様の御協力により無事に幹事を全うできたことを心から感謝致します。

各委員会活動

例会委員会 宮地公平 委員長

楽しい例会にしようと、私、小島(馨)副委員長、保母・吉ノ元委員長が中心になって運営しました。研修委員会等の計画により部外から、杉田不動尊貫主、大坪日野市長、杉浦三枝子氏においでいただきました。会員卓話は、保母・仲村・魚住各会員、8月納涼例会は、昭島「車屋」、新年例会は崔栄徳(チェヨンドク)氏の演奏会、4月100回記念例会は小澤正人氏の映画解説講演、6月最終例会は、うかい「竹亭」で行うことができました。委員会のみならず、クラブの皆様のご協力により無事終了できました。ありがとうございました。

情報委員会 山本英次 委員長

引き続き受け持つことになり情報委員としての広報の在り方を反省した結果、費用面や保管面での問題がありましたが、思い切って、4ページから6ページ建ての紙面構成に踏み切り、年間の企画や行事の掲載にモレの無いように心がけました。

写真が沢山載せることが出来たので、「プロバス便り」が見違えるようになり、皆様のご期待に応えることが出来たと自負しているところです。

会員委員会 黒澤直明 委員長

前年度は副委員長として会員増員・増強に努力し、その結果多くの友人たちに入会して頂き、楽しい交流が出来ました。

今年度は会員委員長として、より一層の交流に繋がるお手伝いをしていきたいと思い、会員増強に励んで参りました。

研修委員会 澤田研二 委員長

前年度横山委員長からの申し送りも踏まえ、函館五稜郭(新選組史跡)の研修が28年度からの継続した課題でもあり、実施できないものかと検討を重視しながら企画しました。

しかし、史跡案内の中心である村瀬会員の健康的なこともあり断念しました。他の企画では大変盛り上がった一年でした。

- ①高幡不動杉田貫主(卓話)9月
- ②大坪日野市長市政報告(卓話)10月
- ③高尾山薬王院見学 10月
- ④澤乃井(小澤酒造・1702年創業)見学・平成31年4月

地域奉仕委員会 渡辺 明 委員長

7月 「よさこい祭り」は台風のため中止となる。

10月 「夢ふうせんまつり」が実施されますので、是非訪問し、バザー商品及び焼きカレーパン等の購入をお願いする。

11月 22・23日に、たかはたもみじ灯路が開催され、プロバスクラブは「夢灯り」を担当、今年も多数のお客様で盛大であった。

31年1月 「吹き矢インストラクター」の試験が行われ、受講者10名が合格という快挙を成し遂げた。

4月 「多摩川・浅川クリーン作戦」実施、13名が清掃に参加し終了後の懇親会には10名が参加し楽しく過ごした。

5月 11日(土)・12日(日)に「日野新選組まつり」が実施され、副長土方歳三没150年で盛大に開催された。プロバスクラブとして、久保・渡辺両会員が接待係として参加した。

健康吹き矢事業 林 良健 担当参与

1. 社会貢献活動の実施

■社会福祉法人日野市社会福祉協議会 日野市ボランティアセンターへ『ボランティア協力者』として登録し、活動開始。

1. 自治体関連 ◇活動状況:えびす会、気かけネットワーク、ふれあいサロン縁がわ

2. 地域関連 ◇活動状況:緑ヶ丘サロン「談笑縁」、日野台サロン「ここにカフェ」

■日野市子ども部子育て課「放課後子ども教室」ひのっちで『吹き矢教室』実施。

3. 教育関連 ◇活動状況:旭が丘小、南平小、豊田小、滝合小

2. 「吹き矢インストラクター」資格取得

・指導するために「公認インストラクター」の資格を、14名の方々が資格取得。

年度活動記録



「ボランティア協力者」
として活動していた
吹き矢事業

今年度よりクラブ
事業として立ち上がり、有志により「公認
インストラクター」試験を受ける。
14名全員が資格
取得となる。



大坪冬彦日野市長の卓話
日野市の全貌を伺う大事な機
会となっている。



第13回 日野プロバス ゴルフ @相武CC



新年会
八王子、多摩から多くの
来賓を頂き、渋谷文雄会
員の乾杯の発声で盛大
に行われた。



◁ 「たかはたもみじ灯路」

「ひの新選組まつり」 ▷
参加された奥会長



平成30年度(奥会長年度)最後の例会 日野プロバス第102回月例会
八王子市うかい竹亭にて 30名参加 令和元年6月20日 2019.6.20



例会委員会企画
①写真 会食は「昭島・車屋」
②写真 「八王子・うかい竹亭」で楽しんだ。

役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	奥 修兵
	副会長	後藤紀之
	幹 事	小島康義
	副幹事	朝倉 章
理 事	例会委員長	宮地公平
	情報委員長	山本英次
	会員委員長	黒澤直明
	研修委員長	澤田研二
	地域奉仕委員長 ※健康吹き矢事業・吹き矢担当参与	渡辺 明 林 良健
	会計監査	疋田久武
	会計監査	小島 馨

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)／委 員
例会委員会	宮地公平	◎小島 馨
		泊谷時男、疋田久武、吉ノ元身良 青島良二、保母錠治、仲村房次郎 西湖秀明
情報委員会	山本英次	◎小西弘純
		小林昭治、曹 一男、田口賀夫 本部皓允、吉村 豊
会員委員会	黒澤直明	◎久保正男
		篠原昭雄、後藤一郎、折笠正雄 魚住 徹、小倉孝樹
研修委員会	澤田研二	◎横山好忠
		渋谷文雄、矢野凱弓、大島芳幸 舟橋 洋、井上宏子、村瀬彰吾
地域奉仕委員会	渡辺 明	◎横山好忠
		渋谷文雄、矢野凱弓、大島芳幸 舟橋 洋、井上宏子、村瀬彰吾
※健康吹き矢事業	吹き矢担当参与	林 良健

第10年度 令和元年～令和2年度事業記録

(2019年～2020年)

< 年度基本方針 >

会長 後藤 紀之



テーマ “楽しくなければプロバスじゃない”

1. 「10周年記念事業」のための実行委員会を軸とした準備
2. 「レクレーション吹き矢事業」の拡充
3. 会員相互の親睦を深める為の同好会等の充実

< いま 思うこと >

幹事 宮地 公平



2回目の幹事職を拝命しました。

今回は多少スムーズに業務を進めることができました。

会長方針「楽しくなければプロバスじゃない」のもと、麻雀同好会、グルメを楽しむ会、ワンワンクラブなどの同好会活動等も盛んになってきており、クラブ独自の地域奉仕活動「吹き

矢事業」も軌道に乗り、高齢者の活動場所を提供できるクラブとして着実に成長しています。令和2年当初から顕在化したコロナウイルスは、瞬く間に世界を席卷、例会も3月～6月はできませんでした。10周年事業も、基本的には延期の状態です。いまだ先は見えません。一刻も早い「現況復帰」を願うばかりです。

各委員会活動

例会委員会 保母錠治 委員長

例会委員会の報告にあたり、例会委員会の皆様、関係各位のご協力をいただきましたこと、心より感謝致します。有難うございました。

7月より2月まで8回の例会を開催し、8月には日野の「サカエヤ茶楼」における納涼例会、1月には「立川グランドホテル」において新年例会と、2つの特別例会を開催できました。特にお招きした演奏者の方が盛り上げて下さり、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

その後、新型コロナウイルス感染が拡大し例会の開催が困難となり、大変残念な締めくりとなりました。困難な状況でも、知恵と協力で乗り越え、より絆の強いクラブになる事を願ってやみません。

情報委員会 大島芳幸 委員長

令和元年7月13日(木)新年度の例会を後藤紀之新会長、宮地公平新幹事のもとで開催。8月8日「納涼例会」を兼ねて、日野駅前「サカエヤ茶楼」、10月17日大坪冬彦日野市長講話、1月19日立川グランドホテルにて新年例会を開催。令和2年3月以降6月までは新型コロナウイルス感染防止のため例会中止となる。その間、クラブ会報「プロバスだよりは112号、113号を発行した。年度としては例会を第103～110回の8回開催、会報は第105～113号の9回発行となった。

会員委員会 仲村房次郎 委員長

平成22年10月発足当時のクラブ会員数は26名でした。令和元年9月現在40名のクラブ会員となり、平均年齢は75.6才となっています。この10年間を通過点として、これからも各委員会の皆さまにご協力を得て益々の増員を計っております。

東京日野プロバスクラブ10周年、おめでとうございます。会員委員会一同

研修委員会 澤田研二 委員長

今年度の委員会の活動は、残念ながら三本でした。9月に高幡不動尊杉田純一貫主の「十善会とは」についての講話を頂きました。10月は大坪冬彦日野市長から「日野市の財政と今後の課題」の講話を頂きました。11月には土方歳三没後150年の節目でもあり、市内各所の「新選組史跡巡り」を実施し、大好評でした。他事業は残念ながらコロナ禍の中断念しました。

地域奉仕委員会 黒澤直明 委員長

令和1年より地域奉仕委員長として計画、活動してきましたが、令和2年コロナにより例会も出来ず、地域奉仕委員として物足りない、残念な一年でした。

日野市・健康吹き矢事業 林 良健 担当参与

“健康・吹き矢”を通じて、社会貢献活動実績は

- ・シニア団体への支援は、自治体関連1団体34名、地域関連3団体63名 計97名です。
- ・教育関連としては、ひのっち(放課後子ども教室)は、4校14回 309名です。

尚、今年3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全て中止です。

今後の、“吹き矢事業”の見通しは立っていません。

年度活動記録



卓話・「日野市の財政状況について」

大坪冬彦 日野市長

日野市の決算規模・人口構成の推移の比較や社会保障費増大、多摩26市との財政力指数の比較等を綿密な資料を基に説明。将来にわたる会計基金残高、財政負担、財源など日野市の厳しい財政状況、日野市が抱える困難(市立病院・公立保育園等の直営施設が多いこと・都市基盤整備の立ち遅れ)や今後の財政需要、対応策などをご講義いただきました。



卓話 高幡不動尊金剛寺

杉田純一 貫主

当山には、「知足庵」という茶室があります。中国春秋時代における哲学者の老子の言葉にある「足るを知れば辱められず、止まるを知ればあやうからず。」を由来としています。

又、人と接するときには、和顔愛語(穏やかな顔つきとやさしい言葉遣い)で相手の心をくみ取り、笑顔で接することが肝要、と説かれました。



地域奉仕委員会・12月18日(水)
社会福祉法人「夢ふうせん」表敬訪問

地域奉仕委員会・11月22日～24日
第14回たかはたもみじ灯路開催



研修委員会・11月26日
新選組関連施設巡り
観光バスをチャーターして丸一日がかりで9ヵ所を見学。

新年会

会長挨拶 後藤紀之会長



会員の皆様、お越し頂きましたお客様、新年あけましたおめでとうございます。

今年はオリンピックパラリンピックが開催されます。全日本PCの大会が青森県五所川原で開催され、また、11月19日(木)には当クラブの10周年記念式典を開催します。10月24日豊田イオンモールにて小林宏之氏による記念講演を広く市民に声掛けして行います。今年も宜しくお願い致します。

懇親会 日時:2019年1月16日(木) 会場:立川グランドホテル



乾杯挨拶

篠原昭雄会員

当クラブ初代会長の篠原でございます。本日はありがとうございます。

今年で日野プロバスクラブも10年を迎えます。

当時は東京日野ロータリークラブと飛火野ロータリークラブ、八王子プロバスクラブのご協力のもと、会員数26名でスタートしました。

プロバスクラブは会員の心を潤す会でありたいと念じております。令和の時代と意味が相通じるものがあると思います。



第一回麻雀同好会開催



市川資忠会員の卒寿を祝う会





役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	後藤紀之
	副会長	矢野凱弓
	幹 事	宮地公平
	副幹事	渡辺 明
理 事	例会委員長	保母錠治
	情報委員長	大島芳幸
	会員委員長	仲村房次郎
	研修委員長	澤田研二
	地域奉仕委員長 ※健康吹き矢事業 吹き矢担当参与	黒澤直明 林 良健
	会計監査	朝倉 章
	会計監査	小島康義

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)／委 員
例会委員会	保母錠治	◎吉之元身良 奥 修兵、泊谷時男、小島康義 村上 光、青島良二
情報委員会	大島芳幸	◎小西弘純 篠原昭雄、山本英次、疋田久武 小林昭治、曹 一男、本部皓介
会員委員会	仲村房次郎	◎小島 馨 土方尚功、田村豊章、田口賀夫 折笠正雄、吉村 豊
研修委員会	澤田研二	◎久保正雄 鷺尾昭夫、横山好忠 舟橋 洋 西湖秀明
地域奉仕委員会	黒澤直明	◎魚住 徹 市川資忠、菊池昭雄、後藤一郎 朝倉 章、小倉孝樹
※健康吹き矢事業	吹き矢担当参与	林 良健

The background of the page is a repeating pattern of small circles. Each circle has a different color and a different internal texture. The colors include shades of yellow, orange, pink, purple, and light green. The textures range from solid colors to various line patterns, such as horizontal lines, vertical lines, diagonal lines, and concentric circles. The overall effect is a vibrant and busy, polka-dot-like pattern.

会員の紹介



テーマ『60才からの出会い』

青島 良二 会員

日野プロバスクラブに入会する一年程前の事です。日頃から親交のある黒澤さんから「今度済州島にプロバスで行くんだゴルフで」と聞き、私は咄嗟にいいな、いきたいな、参加させてもらえるかなとお願いしたんです。すると「皆がいいよと言ってる」と返事。嬉しかった。私はその時プロバスの組織を理解してなく無謀なお願いをしていたのでした。旅行当日空港で暖かく仲間に加えて頂いた。故渋谷文雄様を始め先輩諸氏に今もこれからも感謝している。道中大島さんのパスポート事件、渋谷さん事件、失礼ながら面白かった。60過ぎてからの出会いはそれまでとは色が違うと感じる。今の出会いに感謝している。



テーマ『プロバスと私』

朝倉 章 会員

日野市には18年前に転居してまいりました。
友人に当クラブへの入会を勧められましたけどどうも敷居が高く感じられました。入会してみると皆さんフレンドリーで安心したものです。
初年度にも拘わらず副幹事の重任を仰せつかりましたが、四役会への参加及び会計の仕事を通じて全体を理解する良い機会となりました。
また、各種視察会や市などのイベント・奉仕活動への参加等を通じて市民としての意識も高まりました。よい場を与えられたと感謝しています。今後もこの地で過ごす身として微力ですが、この会で活動してゆこうと思います。



テーマ『プロバスと私』

魚住 徹 会員

プロバスとの出会いは浅川の畔のスナックであった。好漢・黒澤氏の「ゴルフを同世代で楽しもうよ」との甘い囁きに、酔眼朦朧、誤解も甚だしく「サロン・プロバンスか、いいよ」と即答。
入会届を出した後、改めて会則を読むと、それなりに役割分担がある。学生時代から「不羈」(しばられず)を信条としてきた身には、聊かつらいと感じても、後の祭り。コロナ禍で読書三昧を余儀なくされる中、「行雲流水」との言葉に出会った。思えば、もはや「法を踰えず」の世代。独立不羈などと肩ひじ張らず、行雲流水の精神で暮らせば、人生気楽と、漸く気付いた次第。



テーマ『5周年記念から5年』 大島 芳幸 会員

思い起こせば、平成27年7月1日当時、山本英次現全日本理事を会長に仰ぎ、小生も入会未だ3年目でクラブ幹事を仰せつかり、当クラブ5周年記念事業年度がスタートしました。

初代会長の篠原昭雄会員を実行委員長として、理路整然と計画が進められ、11月19日に高幡不動尊境内の客間殿において記念式典・懇親会が催され、5周年記念誌も刊行されました。

その後も当クラブにおいては研修事業として多方面から講師を招き、また、近隣の名所旧跡を探訪し、地域奉仕としての健康吹き矢事業を地元の小学校等に浸透させてきております。前年度後半よりのコロナ禍の襲来により、活動が大幅に制限されておりますが、早期の収束を願い、今後ますますの闊達な活動を期待致しております。



テーマ『プロバスと私』 大田 健 会員

今年1月より新会員として皆さまのお仲間に入れて頂くことが出来ました大田健と申します。又7月より令和2年度の例会委員会の委員として、例会の運営に少しでもお役に立てればと考えておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず8月の例会もお不動さんからのご要望もあり中止を決定したとの連絡を頂き残念な気持ちで日々過ごしております。

7月末現在、東京都は連日感染者数が増え続けていますので9月以降の会合についても不透明な状況が続くと思いますが、今は我慢の時と考えて行動して参りますので皆さまとお会いできる時までどうぞよろしくお願い致します。



テーマ『感謝』 奥 修兵 会員

記念すべき10周年の年度を迎えながら、新型コロナ感染症の蔓延により計画された各種記念行事の中止や通常例会すら満足に開けない中での今年度の理事役員の様々な運営努力に感謝しております。

振り返ってみると創立の日以来、亡くなられた方、退会された方を含めて60数名の多くの出会いの場を得られた事、そして新たな交流の場の中から様々なお付き合いを頂ける方々が出来ました。リタイア後の生活の中での大きな財産が出来たと思っています。今後も健康に留意し、戴いた財産を大切に暮らしてゆきたいと考えております。



テーマ『プロバスと私』

小倉 孝樹 会員

南平に店を開いて、4年が過ぎようとしています。建物のオーナーからお誘いをうけ、住み慣れた土地を離れて夫婦二人でこの場所に来ました。

そして、最初に伺ったお店が「寿司正」さんです。

街の中に凛と佇むお店、始めて訪れた客なのに暖かく迎えてくれた店主の折笠社長。それから今日まで、この場所でかけがえのない沢山の出会いを作っていただきました。

この店を通じて知り合った、黒澤さんにはプロバスクラブをご紹介いただき、ここでも多くの方々と知り合えた事を感謝しております。



テーマ『人と人との出会い』

折笠 正雄 会員

苦は人生の隠し味と申します。

長い人生生きていく中で、いろいろな人との出会い、触れあいがありますが、人と人との出会いは一つも無駄がなく、いつも旬時の出会いだそうです。

良い仲間、良い人達とつながっていると、心に余裕が生まれます。私は芹沢文学の愛読者で、今も多大な影響を受けている人生ですが、若い修業時代から、行く先々で素敵な人との出会いを沢山顶きました。日本に生まれた事を神に感謝している日々です。

プロバスクラブ創立10周年おめでとうございます。
黒澤さんのご紹介でご縁を頂き、3年前に入会しました。仕事(鮭店)が、まだ現役でなかなか時間が取れなくて例会に出席できず、心苦しく思っております。
当会の益々の発展と社会への貢献を祈念申し上げます。



テーマ『プロバスと私のエポック』 菊池 昭雄 会員

平成22年9月15日に開催した1周年記念は印象深いものでした。来賓の八王子プロバス佐々木研吾会長が日銀盛岡支店に勤務の際、岩手放送の私の前の社長河野逸平と盛岡ロータリークラブで同籍だったとのことで話が弾みました。爾来、親しくお付き合いをさせていただきました。

また、来賓の多摩プロバス稲田興幹事は盛岡出身で、私と同じ岩手大学工学部電気工学科の後輩であり、暫し母校の話に花を咲かせ、その後しばしば会ってはプロバスでは先輩の稲田氏からプロバスの指導を受け、私にとって貴重な収穫でした。プロバスは正に親睦の場であるにつくづく感じさせられました。



テーマ『目指せー5』

久保 正男 会員

令和2年は「新型コロナウイルス」に始まり大変な年となりました。一刻も早く収束して、ゴルフやプロパス活動を楽しみたいと思います。

$$5 \ 6 \ 7(\text{コロナ}) - 5 \ 6 \ 2(\text{ゴルフ}) = -5$$

もっとも、発刊される頃には、完全終息していることと期待しています？

ところで皆さん、植物の「万両」や「千両」をご存じだと思います。秋に赤や黄色の実を付けるあの植物です。かすかな期待を込めて庭に植えていませんか？ 実は私もその一人で庭には、欲張ってもう一種類「百両」もありますが全く効果がありません。そこで、最近「十両」もあることを知って、早速植えました。秋にはどんな「実」をつけるか楽しみです。それより、どんなご利益があるのかそちらがもっと楽しみです。正直なところ今は、「万両」より「十両」でも良い心境です??



テーマ『プロバスと私』

黒澤 直明 会員

前年度は副委員長として会員増員、増強に努力し、その結果多くの友人達に入会していただき、楽しい交流が出来ました。

今年度は会員委員長として、より一層交流に繋がるお手伝いをしていきたいと思っています。

引き続き会員増員に励む思いです。



テーマ『新型コロナウイルスで母を慕う』

小島 馨 会員

私は満州生まれ、日本に引き揚げる途中で母から姉兄の三人を栄養失調と疫痢などの感染症で亡くしたと聞かされ育ちながら、新型コロナウイルスがこんなにも人々を恐怖と不安に陥れるとは想像も出来ず、すでに他界した母の幼子を亡くした時の苦悩と悲しみを思い知らされました。

すでに私も後期高齢者の仲間入りですが、親切と思いやりに心がけ、できる限りプラス思考で「日々是好日」の生き方をしたいと思います。

創立10周年記念誌発行迄のご苦勞に感謝し拝読できる日を楽しみに致しております。



テーマ『今、思うこと！』

小島 康義 会員

早いもので、2015年11月19日高幡不動尊2階例会場で「創立五周年記念式典・祝賀会」を開催してもう5年になります。

最初に、2015年～2020年の5年間で大切な仲間が4人逝去されましたこと、心からご冥福を申し上げます。

振り返ってみますと、2015年-例会委員長・2017年-副幹事・2018年-幹事として務めて参りました。山本会長の下で例会委員長、後藤(紀)会長の下で副幹事～PC会計全般、奥会長の下で幹事～PC内外の渉外全般を経験させて頂いた

ことに、心より感謝申し上げます。

個人的には、2020/1/24 ㊦「吹矢インストラクター試験」に合格(追試)したことが嬉しい出来事でした。その他たくさんの思い出がありますが……。2020年度は新型コロナウイルス禍の中、「創立十周年記念式典・祝賀会」を含め様々な会合等が中止又は延期になっております。早くに、ワクチンが開発されることを祈ります。今後は仕事をしながら、のんびりとクラブライフを楽しめればいいな～と思います。



テーマ『回 想』

小西 弘純 会員

日野プロバスクラブ10周年を迎え、おめでとうございます。

私が入会したのは、創立から間もない時、自分から探してクラブの門を叩いた、押しかけ会員です。創立会員でない入会会員第一号です。

入会して一度に30名近くの友人が出来て、例会でその会員の中に居る事は幸せでした。会を重ね、会長職までさせて頂き、今まで思っていた事を存分に会員皆様と分かち合いたいと考え年度を迎えましたが、途中病魔に襲われ、思いは叶わず、役員理事の皆さまには多大なご迷惑をお掛けし、会員の皆様にも申し訳ない年度にしてしまいました。欠席中は奥副会長、宮地幹事はじめ役員理事の皆さまに助けられ運営して頂きました。いま80才を過ぎて気持ちは若く、身体は衰えている事に気がつきました。



テーマ『プロバスと私』

小林 昭治 会員

私が日野プロバスクラブに入会したのは、クラブ設立から一年半後でした。当時は若手の一人でしたが、諸先輩方からいろいろとアドバイス頂きながらクラブの活動に参加して来ました。

まだ現役の経営者として働いていますので、クラブの要職は辞退させて頂いておりますが、与えられた仕事は出来る限り頑張りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



テーマ『プロバスと私』

五加 治 会員

私と「日野プロバスクラブ」出合いは、令和2年の日野市の賀詞交換会終了後でした。

澤田研二さんから大雑把な説明だけで、高齢者達の親睦を主に「ゴルフ」「麻雀」「カラオケ」等があり大変楽しい会、4月に一度見学に来てみたらとの誘いでした。

しかし、新型コロナの感染による非常事態宣言で、それも叶わなかった。

そうしたら、7月の例会に会員として出席してくれとの依頼で、何が何だか判らないうちにプロバスの会員になってしまった。

未だに親睦会への出席は全く無く不安はありますが、何とか継続して出席し、クラブの趣旨を理解する様にしたいと思っています。



テーマ『夢を見た』

後藤 一郎 会員

最近、亡くなった先輩や友人と夢でよく会う。歳に不足はない。呼んでくれているなど感じている。逝くときのみやげ話を考えていたら夢を見た。

あの国会が「日本自立50年計画」を可決、政権交代に関わりなく推進するという。①電力の確保を自力で可能にする電源の開発 ②食料の自給率を100%に高める ③自然との調和を図る防災国土の建設—などがある。

コロナ禍で目覚めたか、電力、食料、物作りの外国頼りからの脱皮とみた。半減期が長く後始末の厄介な原発外しもよい判断。これで心置きなく旅立てる。よしと膝を叩いたら目が覚めた。(本稿提出後、菅総理誕生「脱炭素社会化」公表、期待しています。)



テーマ『プロバスと私』

後藤 紀之 会員

早いもので当クラブも10周年を迎えることとなりました。その間、延べ60人程の方々との交流を持つことが出来たことを感謝しております。

昨年度は会長職を仰せつかりましたが、「新型コロナウイルス」の感染拡大により、3月から例会を始めクラブに関連する全ての行事・催し物等が中止または延期となり、ほとんどの職務を全う出来なかったこと

が心残りです。

残念なことに10周年記念行事は来年に延期となりましたが、1日も早くこのコロナ騒動が収束に向かい、充実したクラブ活動が再開出来ることを祈っております。



テーマ『10周年にあたって』

澤田 研二 会員

クラブの創立からの10年間は、2度も大事故！に見舞われました。2011年3月11日の「東日本大震災」はクラブ創立から6ヶ月後で、初代幹事としてまだ四苦八苦の最中から漸く活動が安定方向の時、予期せぬ大災害の発生で大混乱に。そして10年目の今年は副会長という立場で「コロナ」という姿の見えぬ相手と戦う破目になり、大苦戦大混乱の中にいます。

こんな時思い出したのが二宮金次郎の薪を背負った銅像。あの像は勤勉な優等生の姿ではなく「どんな状況でも一歩足を踏み出せるように」との二宮家の家訓との事。私も見習ってただコロナ禍を避け籠もるだけでなく、いつでも状況を見極めて行動が出来る体制を整えておきたいと思っています。



テーマ『どんな役でも^{こな}熟せる人の集まり』

篠原 昭雄 会員

プロバスから元気を貰いつつ十年が経つ。今は米寿を越え卒寿を目指している。プロバスの役員は輪番制で、ほとんどの会員がそれを経験し立派に会が運営され活動も年々充実してきた。

^{こな}

熟せると思っていたが、案の定、それぞれ担当の役が見事に^{こな}熟されてきた。

それが基になってか中身のある会が多くなった。近年新たに会員が増え、毎月の例会でも更にさまざまな楽しみが期待される。このような素晴らしいクラブの一員である事に密かな誇りを感じる昨今である。



テーマ 「10周年にあたって」

田村 豊章 会員

日野プロバス10周年、おめでとうございます。

設立当初は自宅の一棟をクラブの事務所として活用頂いたこと等を懐かしく思い出します。

益々のご発展をお祈りします。



テーマ『10周年を迎えての願い』 泊谷 時男 会員

入会して10年目を迎える中、新型コロナウイルス問題で例会出席もままならず、会員の皆様方にお会い出来ず寂しい時期を過ごしております。

一日も早く安心な生活が出来る日を願い無事日野プロバスクラブの10周年を迎えたいものです。



テーマ『10周年にあたって』 仲村房次郎 会員

創立10周年の記念すべき年に、残念な事に新型コロナウイルス感染症の世界中の大流行で世の中が一変しました。

その中で我々の日野プロバスクラブ一同は皆元気で10周年を祝う事が出来ると思います。

“注意 COVID19”

※新型コロナウイルス感染症に注意

※長期戦を覚悟すること

※3密回避を守ること 密閉密接密集

※日頃の実行 手洗、ウガイ、消毒、マスク、体温計測



テーマ『「終活」ではなく「継活」へ』

林 良健 会員

「地域に奉仕する… 団体」と聞いて入会しましたが、あまり奉仕しないまま10年経過してしまいました。(会社退職後、6年目に入会)仕事以外の活動で人脈が広がれば…の思いで活動を始めました。

今は「人の喜びを、我が喜び！」を信条に、24団体に所属し、16団体で役職に付き、活動を継続しています。

今後の現役ライフスタイルを考えた時、「終活」ではなく「継活」である…と思います。仕事・相続など遺していく家族にたいする「終活」は大切ですが、「終わり」の活動だけでは寂しい。次の世代に何かを伝える活動が出来れば、人生の晩年も再び輝くと思います。



テーマ『プロバスと私』

疋田 久武 会員

私は日野プロバスクラブ誕生の翌年2011年6月に入会し、今年は喜寿を迎えました。68歳での入会でした。当クラブには学識経験豊かな方が多くいらっしゃり、入会してから多くのことを学びました。特に故渋谷先輩から中国について教えて頂いた事が印象に残っています。ただ、これまでに逝去された方が惜しまれます。慎んでご冥福をお祈り

申し上げます。

今年は新型コロナウイルスの感染により、例会中止が続き、大変な年となってしまいました。そんな状況下でも、プロバスクラブの仲間と希望を持ち、楽しいクラブライフを送っていきたくてお思います。



テーマ『10周年にあたって』

土方 尚功 会員

早いもので創立10周年となりましたが最初からの会員として、例会、各事業にも積極的に参加でき、会員と共に他団体などのメンバーとも広く友好の輪が広がりました。

令和2年は、新型コロナウイルス感染から、国、都道府県、各市町村の行事や祭などの中止や縮少、他行事への変更等となり、大きな影響を与えており、当市でも大きな行事である新選組まつりやよさこい祭り等もそれぞれが中止となりました。

又、各種団体に於いても、総会等その対応について考慮されたところでは、早く平常な対応が出来、我が団体が益々強固に発展する事を強く望みます。



テーマ『酔っ払いのたわごと』

舟橋 洋 会員

“酒とは”発酵飲料としての食文化、歴史、民俗学、嗜好品、社会学、心理学、人を幸せにする神様からのご褒美。

とりあえずうまい酒と、ちょっとした肴、そしてプロバスの仲間が居れば、2～3時間は夢を見られる。早く仕事を完全に引退して、プロバスクラブのマーじゃん部に入会させていただき、百草の畑で野菜を作り、夕方からは毎日の様に、人生の先輩たちの冒険談を聞きながら、うまい酒を飲みたい。それが今の私の希望。

今迄、仕事もプライベートも、多くの方々に助けていただいたので、今後は地域のために、人のために、少しはお返ししたい、と考えながら、今夜も酒を飲む。



テーマ『プロバスと私』

保母 錠治 会員

入会し2年となり、まだまだ駆け出しですがゴルフ、麻雀、飲会と楽しく過ごさせて頂いており感謝しております。日野市に住んで50年程になりますが、地域との繋がりは甚だ稀薄なもので、プロバスの皆様との交流を通じ日野がふるさとになったような思いが強くなりました。

若い頃より議論好きで、つい熱く語ることがあり、今でもその習性が残っているようです。今後は改め「柔軟性」に心がけ、ゆとりのあるシニアライフが実現出来ればと感じております。

諸先輩方の御指導をよろしくお願い申し上げます。



テーマ『プロバスと私』

本部 皓允 会員

私は、3年ほど前まで「東京日野ライオンズクラブ」に所属しておりました。

個人的な事情があつてこれを退会した後、お誘いを受け「当プロバスクラブ」に入会させていただきました。入会時の私の年齢は79歳でした。入会后、多くの方達と親交を重ねることができて、今日に至っております。

若い時代は、特殊な精密機械の製造業を行なっておりました。特に、自ら作った製品の販売に力を注ぎ、世界中に販売拠点を作りました。その結果、東京三多摩地方のナンバーワン中小企業に選ばれ、表彰を受けたことがあります。

73歳になった折、スイス国の大手企業からこの会社の買収の申し出があり、後継者がいなかったため、それを受け入れてこれを売却し、今日に至りました。その結果、今は、単なる老人としての生活をしております。



テーマ『プロバスと私』

宮地 公平 会員

平成25年3月、八王子に転居してきました。当初は趣味の写真で過ごしていましたが、知人もなく、今後の生活の形も見えず苦慮していたところ、同窓会で後藤紀之会員に誘われて、平成28年3月に入会しました。併せて、林良健会員の「吹き矢」への参加がきっかけとなり、吹き矢教室、短歌教室、算数教室、八王子PC囲碁クラブ等その幅が一挙に増え、やっとこの地に生活の基礎を作ることができてきました。

この幸運を運んでいただいたプロバスクラブの皆様へ感謝の気持ちを大切にして、残り少ない人生を、精一杯楽しく生きていきたいと思っております。



テーマ『私とプロバス』

村上 光 会員

2018年に入会、2年経過しプロバスは私の生活に無くてはならない貴重な存在になっています。1966年に南平に移り住んで以来54年経ちましたが、サラリーマン時代は転勤であちこち移動、又退職後は四国に職を得て高幡不動にじっくり腰を落ち着ける暇もありませんでした。しかしここ数年は仕事のペースもゆっくりしたものになり、初めて高幡不動で落ち着いた時間を過ごすようになり、やっとここ高幡不動が自分の終の住まい、真の地元との思いを得ることが出来ました。

毎月の例会の行き来で高幡不動の境内は我が庭の如く身近になり、頻りに散策する場所になっています。

現下のコロナ禍で残念乍らプロバスの活動もスローダウンせざるを得ない状況ですが、正常化した暁には再度積極的に参加して行きたいと念じております。特に会長を務めさせて戴いている麻雀同好会の再開を鶴首しております。



テーマ『10周年にあたって』

矢野 凱弓 会員

楽しい時間を地域の仲間と共有し、健康寿命の延伸と些かの社会奉仕を志した創立会員は26名。10年間で計60名が入会し、20余名が卒業された。

日野は多様な人材を有し、躍動を続ける中堅優良プロバスだ。初年度に東日本大震災があり、1度だけ例会中止があったが、その後は順調な発展ぶり。

しかし10年の節目はコロナ禍来襲で4ヶ月連続の活動休止を余儀なくされた。漸く7月に月例会を再開出来たが、状況は厳しく暫くは健康・安全を最優先とした難しいクラブ運営となるだろう。高齢化社会の進展に対応した意義深い此の活動を長く持続したいものだ。



テーマ『楽しもう！クラブ生活を！』

山本 英次 会員

前期の後藤会長も今期の矢野会長も揃って『楽しくなければクラブではない』と大いにクラブ活動を満喫することを提唱している。

毎月の例会で会員の皆さんにお会いして、会食をご一緒できるのも楽しみの一つであるが、やはり外へ出てゴルフ、研修散策、旅行、吹き矢ボランティア等の活動はクラブの楽しみの大きな要素でありましょう。

残念ながら、脊椎管狭窄症を患った今は、全てに参加することに遠慮せざるを得ない状態であるので、楽しみの大半を失ってしまった。

現在の私は、リハビリを兼ねてのスポーツクラブで水中ウォーキング教室に通う毎日であるが、手術を忌避した今は骨密度の向上、生活習慣病・糖尿病、太りすぎの改善に心掛けなければならない。

糖尿病の悪化は手術すらできなくなり、生活環境の著しい悪化を招いてしまう。唯一の楽しみは、孫に連れられての海外旅行に是非もう一度チャレンジするのが私の夢である。



テーマ『プロバスと私』

横山 好忠 会員

光陰矢の如し！2020年8月、満86歳を迎えました。

元気で生きていることに対する喜び、親への感謝、これまでの人生の地域社会や人との繋がりに感謝しています。

私は心の持ちようで、人生とスポーツは後半戦が面白い！

と思っています。それには健康でありたいし、生涯現役！の精神でピン、コロでありたいと思っています。現実には難しいと思われませんか？

年を重ねただけで人は老いない！理想を失ったときに初めて老いが来る！の常に前向きな意欲が大好きです。



テーマ『とても死ねない。(今74歳)』 吉ノ元身良 会員

110歳に到達までに以下の課題を解決しておかなければ、小生は死ねない。74年間の目視その他による理解の範囲は極々一部とおもえる。

今が現世であるとすれば、前世、後世、があるのか、ないのか。重要課題だ。自分の死後はどれかな、1天国・2地獄・3無し(無しは灰にも空気すらにもなれない事) ある書物で2~3歳までは前世のことが記憶にあるが人間の言葉を覚えると忘却？人間の頭の中が「そもそも論で言うと」大宇宙かもしれない、確認する必要性有。宇宙で1光年前の現象が今我々の現世に存在？ え~私自身で確認の必要性ある。地球外生命体UFOはどのように理解すべきか、米国の国防総省が認知ほんとかよ？ 都市伝説での、幽霊、背後霊、座敷わらしの存在を私の中にどう位置づけるか。

温暖化の上昇傾向を小生が何とか止めなければ、悪影響を孫に与えてはNGだな。温暖化でシベリアの凍土が解けて未知のウイルスが目覚める？、マジほんとかよ。人は有力者の口からの発声で戸惑い・争い・幸せが左右、処方箋の開発至急必要。全ての人に住居と食事があれば良いが、世界・被災地等が心配解決の糸口を。今、小さなことをしている、孫と自宅前の川の空缶プラスチック類のごみ拾い。今日も元気に畑か、7000歩か、プールかに 足をあげて「リズムよく」行こう。

プロバスの行末は各自が「茶飲み友達を多く」と小生は認識。安泰を願う課題、小生74年生きているが、大したこともしていない。これが最大級の課題だな。



テーマ『スポーツと恩師との出会い』

吉村 豊 会員

1970年桑原寛樹先生と出会いラグビーを楽しみ、チームワークやリーダーシップを学ぶ。2019年ラグビーW杯日本開催、日本はベスト8進出、チームスローガン「ONE TEAM」が流行語大賞。

1987年米国でマグリスコ博士に師事、科学的トレーニングを学ぶ。

1994年競泳インカレ男子総合初優勝「チームワークと科学的トレーニングの勝利」。

5連覇時、感動と感謝の気持ちが選手に育った。このようにスポーツと恩師に出会い、楽しむことと科学的トレーニングを学び、人間力と競技力向上を図る。これからも人生を楽しみたい。



テーマ『コロナ禍、雑言』

鷲尾 昭夫 会員

武漢のロックダウンに始まるコロナ禍は、未知のウィールスのため先行きの見通しが立ちません。三密を避けてステイホームをし、新聞やTVを見ていると識者と云われる人々の評論を数多く見聞きしますが隔靴搔痒の感は免れません。

とは云え、それ以上の知識も経験もないのでどうすべきか、どうしたら良いのかわからず歯痒いばかりです。感染すると高齢者は重症化しやすいので、クラスターを避けるため当面はプロバスクラブの活動は抑制せざるを得ませんが寂しい限りです。何気ないクラブでの会話でも力となる事を今更ながら実感しています。早く正常に戻る事を願っています。



テーマ『10周年にあたって』

渡辺 明 会員

10周年を振り返ると、本当に短く感じた10年で有った。

入会の動機は豊かな経験と知識で社会に貢献し、相互の親睦を図るクラブで会員の親睦が70%、他が他クラブ交流や社会貢献との事で入会、5周年迄は各委員会との交流及び会員相互の親睦は良く思い出されるが、自分自身が年を取ったか？（今年77歳）、

最近の事はあまり浮かんで来ない。前年の後半からのコロナ禍の影響で、心に余裕がなく流されているのか、再度基本に戻り、会員の親睦を更に深めると共に地域社会に貢献出来るクラブにするか 見直す時期に来ていると思います。

一致団結しコロナ禍に負けず更なる前進をしましょう。



物故会員

順不同



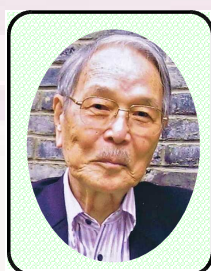
森久保憲治 会員 創立会員

入会年月 2010(平成22)年9月
2014(平成26)年7月26日 享年91才



村瀬 彰悟 会員

入会年月 2017(平成29)年2月
2018(平成30)年8月14日 享年73才



渋谷 文雄 会員 創立会員

入会年月 2010(平成22)年9月
2019(令和元)年5月11日 享年91才



曹 一男 会員

入会年月 2012(平成24)年6月
2019(令和元)年10月5日 享年75才



市川 資忠 会員 創立会員

入会年月 2011(平成23)年9月
2020(令和2)年2月13日 享年91才



クラブ概要

東京日野プロバスクラブ概況

創 立 2010年(平成22年)9月16日 会員26名(全国106番目、東京都5番目)
スポンサークラブ 東京日野ロータリークラブ
東京飛火野ロータリークラブ
東京八王子プロバスクラブ

例会日 毎月第3木曜日 12:30～14:30 (第1回例会は2010年11月19日)

例会場 高幡不動尊客殿 2階(京王線・高幡不動駅下車 徒歩5分)

会員数 38名 (2020年(令和2年)7月現在)
年齢構成 昭和 6年～16年(1931～1941)生まれ80歳代 8名
昭和17年～25年(1942～1950)生まれ70歳代 26名
昭和26年～35年(1951～1960)生まれ60歳代 4名

【目 的】

生き生きと活動し、知り合いや視野を広めると共に、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する。

【組 織】

総会で選出された理事9名が4役(会長、副会長、幹事、副幹事)と下記5委員会の委員長職務を分担し、監査2名がクラブ会計を監査する。なお、副会長は次期会長候補とする。

(1)例会委員会 (2)情報委員会 (3)会員委員会 (4)研修委員会 (5)地域奉仕委員会

【活 動】

総 会 毎年6月に定期総会(次期人事の決定等)、7月に臨時総会(過年度事業報告と決算、新年度事業計画と予算の確定)を開催する。

例 会 毎月第3木曜日開催で、クラブ活動の中核をなす。1月と8月は移動例会とし、それぞれ新年会と納涼会を併せ行う。

理事会 例会に先立って毎月開催し、クラブ活動全般を常務する。

奉 仕 地域奉仕委員会の企画立案を中心に、地域社会奉仕活動を展開する。

研修会 外部施設の見学研修会、また講師をお呼びしての講話研修会等を企画し実行する。

会 報 情報委員会の編集により会報「プロバスだより」を毎月例会日に発行する。前月開催の理事会、例会報告を中心に各種クラブ活動、会員コラム等を掲載する。

H P ホームページにクラブ活動全般を掲載する。写真、画像を多く活用し、速報性も重視する。

アドレスは <https://www.hinopc.com/>

※検索は「日野プロバス」でクリック



同好会 (1)ゴルフ同好会 (会員26名)

クラブ独自コンペを年2回、多摩3プロバス合同コンペ、ロータリーと日野3クラブ合同コンペを幹事持ち回りでそれぞれ年2～3回開催

(2)麻雀同好会(会員17名)

毎月第2火曜日に懇親麻雀会を開催

【事務局】 東京都日野市上田79 渡辺方 Tel&FAX 042-581-7591
Email w3akira003@ybb.ne.jp

【2020年度編成表】

4 役 会 長	(矢野凱弓)	副会長	(澤田研二)	幹事	(渡辺明)	副幹事	(保母錠治)
例 会 委員長	(吉ノ元身良)	副委員長	(青島良二)	委員	6名		
情 報 委員長	(大島芳幸)	副委員長	(魚住 徹)	委員	5名		
会 員 委員長	(後藤紀之)	副委員長	(宮地公平)	委員	4名		
研 修 委員長	(疋田久武)	副委員長	(久保正男)	委員	4名		
地域奉仕	委員長(林 良健)	副委員長	(小島康義)	委員	4名		
監 査	鷺尾昭夫、小林昭治						

【コロナ禍2020年特別記録】

新型コロナウイルスの感染蔓延で史上まれな年となり、プロバス活動も大幅な予定変更・縮小を余儀なくされた。

7月以降は3密を避ける工夫をし、対面の4役会・理事会を毎月継続開催。会報も毎月継続発行している。例会がスタートして丁度満10年となる11月は、ささやかな内輪のお祝い記念例会が行われた。人数を絞った十周年記念行事の再検討委員会が立ち上げられ、地域貢献記念事業を再計画し実行。記念式典は出来なくとも、記録性と全員参加を重視した十周年記念誌の発行を決め、21年2月を目標に鋭意制作作業を進めている。

しかるところ第3波の来襲により、理事会は継続実施したものの翌週の12月例会は中止とされ、楽しみに企画していた新年会も中止が決定される深刻な事態となった。

一方でワクチン完成、欧米での接種開始との有望な情報も出てきた。早期収束を願うや切である。

	日野プロバス関連	COVID19関連
1月	新年特別例会 同好会合同新年会	武漢で肺炎の情報 日本感染1号
2月	第110回例会	クルーズ船入港 小中高一斉休校
3月	▲3月例会中止 ○4役会実施 対面理事会中止	WHOパンデミック宣言
4月	▲4月例会中止 ○4役会実施 対面理事会中止	全国緊急事態宣言 感染第1波
5月	▲5月例会中止 ○ライン四役会 理事会もリモートで	アベノマスク配布 一人10万円給付
6月	郵便による紙上総会 6月例会と対面定期総会は中止	世界感染者1千万人突破
7月	第111回例会開催・臨時総会 ○対面理事会復活	GO TOトラベル開始
8月	▲8月例会中止 ▲全日本五所川原総会1年延期	感染第2波
9月	▲9月例会中止	
10月	第112回例会 ▲十周年記念公開講演会中止	
11月	第113回例会 ▲十周年記念式典・祝賀会中止	感染第3波
12月	▲12月例会中止 ○対面理事会実施 ○病院支援事業実施	世界感染8千万人突破

(1)東京日野プロバスクラブ10年間の記録あれこれ

プロバスの会計年度は暦年央の7月に始まり翌年6月に終わるので、年度の表現が難しい。設立時の取り決めとして、「和暦のスタート年度で呼称」、西暦で補完することになっている。

	年度(和暦)	年度の詳細期間	会長	幹事	備 考
初年度	平成22年度	2010.9.16～2011.6.30	篠原	澤田	創立会員26名、初年度9カ月
2年度	平成23年度	2011.7.01～2012.6.30	篠原	澤田	東日本大震災、1周年記念行事
3年度	平成24年度	2012.7.01～2013.6.30	菊池	奥	
4年度	平成25年度	2013.7.01～2014.6.30	後藤(一)	矢野	
5年度	平成26年度	2014.7.01～2015.6.30	鷺尾	後藤(紀)	
6年度	平成27年度	2015.7.01～2016.6.30	山本	大島	5周年記念行事
7年度	平成28年度	2016.7.01～2017.6.30	小島(馨)	土方	
8年度	平成29年度	2017.7.01～2018.6.30	小西	宮地	
9年度	平成30年度	2018.7.01～2019.6.30	奥	小島(康)	
10年度	令和元年度	2019.7.01～2020.6.30	後藤(紀)	宮地	コロナ禍、4月まで平成31年
11年度	令和2年度	2020.7.01～2021.6.30	矢野	渡辺	10周年記念行事

(2)会員数の10年間推移

創立会員は26名、その年度に3名が入会し初年度末は29名となった。23年度の6名、29年度8名の新入会が目を引く。丸10年で入会合計60名、退会23名と新陳代謝を繰り返しながら、クラブ規模を緩やかに拡大させて来ている。

年度(和暦)	期初の会員数	新入会者数	退会者数	期末在籍者数	備 考
平成22年度	26	3	0	29	篠原 年度
平成23年度	29	6	0	35	篠原 年度
平成24年度	35	2	2	35	菊池 年度
平成25年度	35	2	5	32	後藤(一)年度
平成26年度	32	3	0	35	鷺尾 年度
平成27年度	35	3	4	34	山本 年度
平成28年度	34	3	4	33	小島(馨)年度
平成29年度	33	8	1	40	小西 年度
平成30年度	40	3	1	42	奥 年度
令和元年度	42	1	5	38	後藤(紀)年度
令和2年度	38	1	1	38	令和2年11月19日現在

(3) 例会の10年間記録(開催率9割3分4厘)

2020年11月19日に10周年記念例会が開催され、第113回例会と司会よりアナウンスされた。第1回例会が2010年11月18日開催であり、まさに丁度満10年目の記念すべき例会である。毎月欠かさず開催されれば、10年で120回であり本来は121回目となる計算。差異8回を調べると、2011年3月が東日本大震災で計画停電等により開催中止。2015年11月は創立5周年式典・祝賀会と重なり例会は意図的にパス。すなわち9年間に僅か2回だけの例外的な休会であった。しかし2020年はコロナ禍で状況一変。まさに不可抗力で3/4/5/6月と休会、7月に勇気を奮ってやっと再開したものの、直後に感染第2波の来襲が始まり8/9月と休会で、計6回がコロナ休会。10年間合計では8回の開催中止という次第。

例会はクラブ活動の核心であり、毎月第3木曜日開催と会則にも明記されている。まさに最重要活動と位置付けられ、可能な限り開催され続けてきたことが証されている。

なお毎年1月と8月は新年と納涼の特別例会とされ、常設会場とは別の会場で、懇親会を含めて賑やかに開催されている。



通常例会の一コマ、2016年3月、高幡不動尊客殿常設会場

(4) 会員スピーチ(楽しみな卓話の時間)

定型的な報告事項の多い例会に於いて、それぞれの会員の人生経験や見識が詰まった「会員スピーチ」は皆が楽しみにしている貴重な時間帯。此の10年間に45名の会員により59回も実施されている。

また、外部講師招聘による講演が20回行われ、それには日野市長5回、高幡不動尊貫主5回が含まれる。例会を有意義な時間とすべく尽力する例会委員会、研修委員会の尽力が特筆される。



プロ講師の林会員は5回登場



吉村教授の水泳講話



八王子より寺田講師を招聘

(5) 見学研修や懇親バス旅行

例会や地元会場での外部講師による講演研修に加え、日帰り研修旅行が数多く催された。古い順に例示してみると、「三鷹の天文台」「横須賀の海洋開発研究機構」「つくば市の国土地理院」「都内大手町の気象庁」「相模原市のJAXA、宇宙科学研究所」「府中の警察学校卒業式体験」

「上野寛永寺根本中堂特別拝観」「上野西洋美術館と旧岩崎邸」「府中のサントリー工場」「高尾山薬王院」「青梅の小澤酒造」「日野と町田の土方歳三史跡巡り」と枚挙に暇が無い。



懇親を兼ねたクラブ旅行を列記すると、「築地・羽田・柴又バス旅行」「東北復興支援の1泊バス旅行」「光前寺の光コケと高遠の桜見学バス旅行」「韓国・済州島歴史探訪」「のんびり草津温泉行」などがあげられる。研修委員会や旅行同好会が企画、実行している。(済州島と光前寺の写真)



(6) 会報「プロバスだより」発行の記録(発行率9割8分3厘)

2010年11月18日、プロバス創立支援に尽力頂いた東京日野ロータリークラブ・大谷氏編集による創刊号発行。

第2号からは情報委員会により、前月の理事会概要、例会の詳細、月間の主要クラブ活動報告を中心に記録性を重視した発行が継続された。2020年11月19日例会では第118号が発行・配布されたが、2つの欠番は取材対象とする例会がコロナ禍で開催されなかった2020年4/5月号のみである。

なお、第11号は創立1周年記念特集12ページ。また5周年記念誌は別冊で52ページ立てが出版されている。また、これらは全てホームページに収録されている。





同好会の紹介

ゴルフ同好会

2010年12月 クラブ発足直後の第2回例会で「趣味・同好会アンケート」が実施され、ゴルフが圧倒的な人気に。因みに2位が旅行。これを受けて研修委員会内に2つの部会が設置される。

2011年8月 第1回ゴルフ大会が河口湖CC、第2回が12月よみうりGCで賑やかに開催された。

2012年度 同好会として発展的に組織独立され、疋田ゴルフ同好会会長が就任、ロータリーとの合同コンペも開始された。

2013年度は鷲尾同好会会長に交代、プロバス多摩地区3クラブの親交を深める合同コンペも開始され、八王子・多摩・日野と毎回20名以上の参加で賑わう。



2014年度 矢野同好会会長に交代、渡辺幹事とのコンビで以後5年間世話役を務める。9月には研修委員会、旅行同好会との共催で韓国・済州島ツアー。10月、輪番で幹事クラブとなったロータリーとの合同コンペは、天下の名門「小金井カントリー」で開催。菊池会員が得意のビデオカメラで全員のプレーと表彰パーティを録画。35分に編集した映像を12月例会にて映写披露。地元レストランでの懇親会も盛大に開催された。

2015年度 忘年会で喧々諤々のハンデ論議があり。

2016年度 「持ちハンデ制」に変更。ダブルペリア戦では常勝の黒澤名人もシングルとなり優勝争いでは苦戦に。久保会員より優勝トロフィーが寄贈され、歴代チャンピオンの持ち回り制となる。

2017年度 鷲尾、小島とベテラン勢が初優勝。2018年は青島、保母と入会間もない若手の勝利。

2019年度 後藤一郎氏が満を持してチャンピオンに。毎年6コンペ春秋開催が定着した。

(矢野凱弓)

麻雀同好会

麻雀同好会は令和元年7月、17名の会員が集い発足した。

定例会場所は豊田駅近くの雀荘「グリーン」、毎月第3火曜を定例開催日として活動開始。

健康麻雀は「賭けない」、「吸わない」、「飲まない」が原則のようだが、当会には歴戦の上級雀士も多々居られることから多少スパイスを効かせ、少額の賞金を争奪するシステム(各回会費徴収、場所代差引き残額を上位4人に4:3:2:1の割で分配)を導入し、毎回和気藹々ながらも適度に緊張感のある対局を楽しんでいる。

残念なことに現下のコロナ禍には勝てず令和2年2月の定例会を最後に活動自粛中。熟年者にとって麻雀は脳年齢老化防止に大きな効果があるとの調査結果もあり、会員一同活動再開の日を心待ちにしている。(村上 光)



同好会員初期17名

左から前列 鷺尾昭夫、奥 修兵。

後列 矢野凱弓、渡辺 明、村上光
保母錠治、黒澤直明、田村豊章

当日出席できなかった方

魚住 徹、大島芳幸、小島 馨
小島康義、後藤紀之、澤田研二
泊谷時男、本部皓允、山本英次
(敬称略)

定例会	日 時	人 数	優 勝	準優勝	三 位
第1回	19.07.16	12人	奥 修兵	渡辺 明	矢野凱弓
第2回	19.08.20	10人	村上 光	矢野凱弓	小島 馨
第3回	19.09.17	8人	奥 修兵	澤田研二	保母錠治
第4回	19.10.15	5人	保母錠治	奥 修兵	本部皓允
第5回	19.12.17	8人	矢野凱弓	澤田研二	黒澤直明
第6回	20.02.04	12人	澤田研二	保母錠治	村上 光

写真同好会

短命だったが、活躍した“写真同好会”

2013年に僅か11名で発足した「プロバス写真同好会」は、年1回の「東京都1000人展」への出展を中心として、カメラや腕を競うより、写真を楽しみましょう！をモットウにカメラ付き携帯電話やコンパクトデジカメや一眼レフデジカメで気楽に楽しみました。

お孫さんのスナップや旅行の記念写真、季節のうつろいを写真に残してきました。

東京都1000人の写真展「わたしのこの1枚」に出展したメンバーは、小島康義さん、黒澤直明さん、菊池昭雄さん、澤田研二さん、矢野凱弓さん、渡辺 明さん、佐藤郁夫さん、土方尚功さん、小西弘純さん、泊谷時男さん、奥修兵さん、宮地公平さんと山本英次の13名でした。

日野プロバスクラブ5周年記念写真展は、「日野市・まちの魅力発見！」と銘打って市内のさまざまな情景を披露しました。

理事会を開催する別室にパネルを立てて写真を展示しました。

今は亡き渋谷さんと共に懐かしい最後の晴れ舞台をご覧ください。

(山本英次)



みんなで みんなで楽しくなるよ P・P 同好会 (ProBus・Playing)



10月のアタック

神楽坂のお座敷で楽しむ
たいこもち

ワイワイする日 **10月20日(火)** 11時30分集合
集まるどころ **JR東田原駅西口改札口・付近**
当日の費用 **食事が付いて 8,980円**

スケジュール
11:50 開業150年のうなぎ専門店
12:00 からどぶがぶお風呂13時
12:30 食事(お風呂)又は(大浴場)
13:00 公演第一部
13:00 休憩
13:30 公演第二部
14:30 終了
小西の携帯 080-6565-0243

八月のアタック

高尾山ピアマウントで乾杯
標高500m

ワイワイする日 **8月19日(水)** 18時~20時
集まるどころ **高尾山ケーブルカーチカケル乗り場前**

高尾山ケーブルカーで高尾山を登る。
高尾山ケーブルカーの乗車券は、当日の乗車券に別売りで販売されています。
高尾山ケーブルカーの乗車券は、当日の乗車券に別売りで販売されています。
高尾山ケーブルカーの乗車券は、当日の乗車券に別売りで販売されています。

2018年 12月の企画

日本のおもてなし
芸者とお座敷遊び体験

ワイワイする日 **12月10日(土)** 18時~19時解散
集まるどころ **(借集)入口 日本橋・コイケ室町3・4階**
当日の費用 **大人一人 5,500円 ワンドリンクのみ**

2018年 10月の企画

東京駅丸の内線舎見学と東京ステーションホテルでスペシャルランチ

ワイワイする日 **10月20日(土)**に予定
集まるどころ **東京駅の丸の内線 集合10時30分**
当日の費用 **大人一人 12,800円**

PP同好会は同好会がコンダクターとなり、2ヶ月に1度の企画を発表、「この指止めれ！」で参加希望をされた会員、ご家族、ご友人が同好会会員となり楽しみました。同好会としての会員は募りませんので、自分に合った企画があったときだけ参加して会員になるという同好会です。

- 「高尾山ピアマウントで乾杯」
- 「日本のおもてなし・芸者とお座敷遊び体験」
- 「東京駅丸の内線舎見学と東京ステーションホテルでスペシャルランチ」
- 「神楽坂のお座敷で楽しむ“たいこもち”」
- 「ビアガーデン&バーベキューwao！」 など数多くの企画がありました。
- 「ビアガーデン&バーベキューwao！」の時は、当日が雨のため、急遽舟橋会員にご協力頂き、「星の家」で楽しませて頂きました。

(小西弘純)

創立10周年記念事業実行委員会

委員長	後藤 一郎
副委員長(2020年度会長)	矢野 凱弓
委員(2019年度会長)	後藤 紀之
委員(2019年度幹事)	宮地 公平
委員(2020年度幹事・会計)	渡辺 明
委員(リーダー・式典及び祝賀会 / 例会委員会・委員)	奥 修兵
委員(リーダー・公開講演 / 研修委員会・委員長)	澤田 研二
委員(リーダー・10周年記念誌 / 情報委員会・副委員長)	小西 弘純
委員(例会委員会・委員長)	保母 錠治
委員(会員委員会・委員長)	仲村房次郎
委員(吹き矢専任参与)	林 良健
委員(地域奉仕委員会・委員長)	黒沢 直明
委員(情報委員会・委員長)	大島 芳幸

令和2年度・委員会組織

例会委員会	委員長 委員	吉之元身良 奥 修兵 土方尚功 大田 健	副委員長	青島良二 泊谷時男 村上 光
情報委員会	委員長 委員	大島芳幸 篠原昭雄 小西弘純 小林昭治	副委員長	魚住 徹 本部皓允 山本英次
会員委員会	委員長 委員	後藤紀之 仲村房次郎	副委員長	宮地公平 小島 馨
研修委員会	委員長 委員	吉村 豊 疋田久武 横山好忠		朝倉 章 久保正雄 鷺尾昭夫
地域奉仕委員会	委員長 委員	折笠正雄 林 良健 菊池昭雄 田村豊章 小倉孝樹	副委員長	舟橋 洋 小島康義 後藤一郎 黒澤直明

◇ 編集後記 ◇

東京日野プロバスクラブ創立10周年実行委員会後藤一郎委員長のもとで、記念誌編纂を仰せつかりました。10周年記念式典・祝賀会はコロナ禍のため延期され2021年11月を予定していますが定かではありません。

記念誌はクラブの記録である事を念頭に置き、6年度～10年度(2015年度～2019年度)まで5年間の主な活動記録を中心に編集しました。本来行われる創立10周年記念式典・祝賀会の写真、記録が掲載できなかった事は寂しい思いです。編集・校正には矢野凱弓会長・渡辺明幹事を始め次年度役員の方々に主導していただきました。この10周年記念誌は会員全員が参加して作られた事がもう一つの意義ある周年事業だと思います。

情報委員会・10周年記念誌リーダー 小西 弘純



日野市の木「榿の木」